

会 議 録

会 議 名	嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	平成23年4月28日(金)	開 会	13時30分			
		閉 会	15時10分			
開 催 場 所	嵐山町役場 204会議室					
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) アンケート調査票の調査項目について (2) その他 4. 閉会					
公開・非公開の別	公 開	傍聴者数	0 人			
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	新井 茂	出席
	会長代理	小林千枝子	出席	委 員	/	/
	委 員	宮本 紀子	欠席	委 員	/	/
	委 員	千野 雅之	出席	委 員	/	/
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	/	/
	委 員	松本 洋治	出席	委 員	/	/
	委 員	三神 典子	欠席	委 員	/	/
その他出席者	/					
事 務 局	中嶋課長					
	内田副課長					

次 第	顛 末
1 開 会	中嶋課長
2 あいさつ	寺山会長
3 議 題	別紙のとおり
4 閉 会	

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

平成 23年 5月 25日 署名委員 藤野哲男

平成 23年 5月 25日 署名委員 千野雅之

1 開 会	(事務局)
2 あいさつ	(寺山会長)
※議題前に	(寺山会長) 会議録署名委員の指名 千野雅之 藤野哲男委員
3 議 題 (1) アンケート調査 項目について	<p>前回欠席の千野委員自己紹介</p> <p>(事務局) アンケート調査項目修正箇所の説明</p> <p>(寺山会長) 各委員から調査項目についての意見を求める。</p> <p>前回の調査票そのままか。</p> <p>(事務局) 事務局案としての追加・修正箇所説明</p> <p>(松本委員) 「あなたの家族について」の項目は前回なかったが、今回追加されている。これは入れた方がよい。</p> <p>(寺山会長) 前回の宮本委員からの意見について確認。</p> <p>(事務局) 「法律や制度をどの程度ご存知ですか」という項目について、この設問自体が分かりにくいとのご意見をいただいた。</p> <p>(小林委員) これは国でも質問している項目で、周知度を確認するためのもの。実際に生活している皆様に、男女共同について届いているのかどうかということを国では聞いているもので、趣旨としてはそういうことだが、確かに分かりづらいかもしれない。</p> <p>(寺山会長) 「内容まで知っている」にはいきつくのは難しい。</p> <p>(小林委員) 周知度としては、きちんと理解してもらうことが必要。町の条例などは、行政担当者のためのものでなく町民のためのものであるから、内容を知ってほしいわけで、同様に男女共同参画についても内容を知っているということも入れておく必要がある。</p>

(事務局)

町のプランにもあるが、内容をいかに周知していくかということも課題の一つ。

この結果次第では、プランが実行されていないという検証結果となることもある。非常に重要なところでもある。

(寺山会長)

回答の仕方はもっと違った形は考えられないだろうか。

(小林委員)

もう一つ重要なこととして、アンケートの内容を変えていないということについては、この事業を経年で行っていることについて、次第に「知っている」という回答が増えてくれば、それだけ意識が高まったということなので、その意味では比較ができるためあまりいじらない方がよいと言える。

(事務局)

前回ご提案した際に、調査項目を変更しなかった意図としては、前回調査との比較を考慮したもの。

そのほか、時代に合った調査項目を追加する等のご意見を伺っていきたいと考えている。

(藤野委員)

1と2の中間の意見の方が相当いるのではないか。

内容を少し知っている方は1の回答にはならない。

1と2の中間の回答を増やしてはどうか。

(小林委員)

1と2の間が空きすぎる感じがする。

(藤野委員)

そこに少し間が空きすぎる感じがする。

(寺山会長)

そういう(中間の)回答がたくさんいるのではないか

(小林委員)

少し時間をいただければ、(国で)これに対しての世論調査を行っているので、参考となるものがあれば事務局にファックスを送る。

世論調査を参考に1と2の間の選択肢を追加することとなる。

(小林委員)

「あなた自身のご家族のことについて」、配偶者の職業を聞く項目の趣旨は、共働きかどうかを聞くのか。

(事務局)

本来はこの質問の後にさらに細かい質問があるのだが、これはその導入

部分の質問。

働いているパートナーについての質問を入れた方がよいかどうか迷った部分。本来はそのあとの質問があるべきもので、質問項目を入れるべきかどうか、事務局として迷ったところ。

(小林委員)

今はプライバシーについて意識が高いので答えてもらえない部分が多い。

意味がはっきりしないのであれば不要なのではないか。

また、結婚されているかどうか、男か女か、年齢、世帯構成については、出てきたアンケートの分析に使うもので、そういう集計をしないのならば必要ないと思う。

なるべくプライバシーを聞く質問を少なくする方が答えてもらいやすいと思う。

(事務局)

最初の1、2、3の基礎的な部分を聞く設問については、分析する際に必要となるもので、必要と判断して載せているもの。

(小林委員)

そう考えると、結婚しているかどうか、共働きかどうかなど、分析で使わないのであればなくてもよいと思う。

(千野委員)

いつも思うのだが、配偶者の呼び方について、「うちの主人は」「夫は」「女房」など潜在的な意識の表れだと思う。

他の人の言い方を聞いたとき、改めて男女の平等について意識することがある。

(寺山会長)

前回アンケートでカットした部分の確認をしたい。

(千野委員)

「暴力について」の部分は重要な部分で、かなり多い。

これだけで別のアンケートになるくらいの量と思う。

(藤野委員)

前回、女性が全面的に差別を受けている言葉の暴力ということも含めて差別と言っていることが差別との意見が出た。

(寺山会長)

アンケートの中には、配偶者からの暴力は絶対入れる必要があるのか。

(小林委員)

一つの課題ではある。

(藤野委員)

最近では減ってきているということか。

(小林委員)

それはない。

昔は、外に言わなかったが今は言えるようになった。

アンケートの持つ効果としては、先ほど千野委員の発言にあった、夫と妻の呼び方について、そういったことにアンケートを見て気付くこともある。

暴力について、アンケートを見て精神的な部分のことも暴力と気付くこともある。

(事務局)

前回アンケート調査の集計結果を例示。

DV被害は減っていない印象がある。

そのことをもっと啓発する必要があると感じている。

ここで、前回調査票を配布

(寺山会長)

前回調査票と比較していかがか。

(事務局)

「あなた自身のご家族について」の項目については、項目として入れる必要があるかどうかを検討していただきたいとの意味で、方向性を検討していただきたい。

これだけでは中途半端であり、これだけでは意味のない質問になる。

(寺山会長)

あなた自身ではなくて、なぜ「あなたの配偶者について」聞いているのがなぜなのかと感じた。

(事務局)

中途半端な形であることもあり、削除させていただきたい。

最初の基礎的な部分の調査項目についてはこのままとなる。

(寺山会長)

「まちづくり」についての選択肢を入れていただきたい。

(千野委員)

「男女双方の参画を」という部分はどういう意味か。

(事務局)

現在の計画にもあるが、各種審議会等の男女の構成を均等にするという目的が含まれている。

(千野委員)

もう少し平易な言葉で表した方がよいとの意見。

(寺山会長)

嵐山町では、農業委員などをはじめ、女性の委員が多くなっている。

	<p>(事務局) 本日の検討結果を確認し、修正後の最終案について各委員に郵送して修正箇所がなければその調査票でアンケートを実施することを確認。</p> <p>全委員了承</p>
(2) その他	<p>(事務局) 今後のスケジュールについて確認。</p> <p>アンケート調査と並行して、庁内の検証作業等を進めることを報告。</p> <p>(寺山会長) 最終的なプラン策定期間を目指して、協力をお願いします。</p>
4 閉 会	(事務局)

